

インターバンクの声（2017 年 5 月 9 日）

仏大統領選の決選投票では、マクロン候補がルペン候補に大差を付けてあっさり勝利した。予想通りの結果で EU 圏の先行き政治リスクが薄れたとあって、週明けのアジア市場では安全資産とされる円を売ってドルを買い戻す動きが活発化すると思われる。

早朝のオセアニア市場こそ週末のニューヨーク市場終値から 50 銭ほど円安方向に窓を空けて 113 円台で取引が始まったものの、113 円台での取引はこの場面だけで、週明け東京市場のオープン時間にはすでに 113 円を割っていた。

円安を好感して大幅に上昇して寄り付いた日経平均は、日中も上げ幅を広げていったがドル円はつれ高とはならず、欧州勢が参入し始める頃には 112 円台中盤まで円買い・ドル売りが進んでしまった。

その後のロンドン、ニューヨーク市場ともに主要な経済指標の発表もなく、米連邦準備制度理事会 (FRB) が 6 月に追加利上げをする可能性が高まっていること位だけではドルを買い戻しにくいと思っていたが、早朝あっさり 113 円台に戻っているではないか。

ニューヨーク時間の担当者に確認しても、米長期金利の上昇くらいしか材料はなかったらしい。その長期金利にしても 10 年債で週末水準から 3 ベーシス程度上昇したに過ぎない。モメンタムがドル高方向に傾いてきたのかも知れないが、まずは 113 円 40 銭前後の上抜け確認が必要だ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。